

『リンドバーク 空飛ぶネズミの大冒険』

トーベン・クールマン／作 金原 瑞人／訳

ブロンズ新社 E7



港町で暮らすネズミのリンドバーク。離ればなれになった海の向こうのなかまに会いに行くために思いついたのは、なんと空を飛んでいくこと。設計図をかいで、部品を集め組み立てて……。ようやく完成した飛行機でリンドバークはなかまのもとへたどり着けるのでしょうか。



『くろねこのロク空をとぶ』



インガ・ムーア／作・絵 ながかわ ちひろ／訳

徳間書店 933A



町ねこのロクは、やねのぼりの天才。ある日、山のふもとへでかけたロクは、森の中で山ねこのスコットと出会いました。いっしょに冒険する中、ロクは岩山でスコットにやねのぼりのすごさをみせようと考えます。

『江戸の空見師 嵐太郎』



佐和 みずえ／作 しまざき ジョゼ／絵

フレーベル館 913B



江戸に住む嵐太郎は、空見が得意な少年です。空見とは、天気予報のこと。今では誰もがよく知る仕事ですが、江戸時代ではそうではありませんでした。ある日、嵐太郎は空見の腕を見こまれ、一世一代の大仕事を引き受けることになります。空気を読み取り、空を見あげる、天気への挑戦の物語です。

『ちょうちょ はやく こないかな』

甲斐 信枝／さく 福音館書店 Eカ



ちいさな はなは ちょうちょが とんでくるのを たのしみに まっています。あ、きたきた！とおもったら よその はなに とんでいっちゃった。でも きれいにさいたから ちょうちょ、きっときてくれるよね。



『ふしぎなふうせん』

中川 ひろたか／作 布川 愛子／絵



すずき出版 Eナ

のはらで おじいさんが ふうせんを ひろいました。ふーっと ふうらますと、ふうせんは うたをうたいます。『♪フワフワ フワフワリン そらは どこまで そらなのか』すると おじいさんの からだは ふわりとちゅうに ういて……。？



『つばめのハティハティ』

賀輪 義隆／絵 寒竹 孝子／文 アリス館



488ツ

つばめは 遠い南の国から 日本まで、海をわたって やってきます。ハティハティも そのうちの1羽。長い旅のあと ハティハティには いろんな物語が まっているでしょう。日本での つばめのくらしを、おはなしで 楽しく学べます。



『地球から宇宙をめざせ！』

アレクサンドラ・ミジェリンスカ、

ダニエル・ミジェリンスキ／文・絵

武井 摩利／訳 徳間書店 538ミ



わたしたちの地球は、宇宙の中では 小さな点にすぎず、遠く空の上、宇宙には まだまだ たくさんの謎があります。探査機やロケットなど、さまざまな形で 人類が 挑戦し続けてきた 宇宙の世界に 飛び込んでみましょう。

やねより
たか〜く！

『こいのぼりくんのさんぽ』

すとう あさえ／ぶん たかお ゆうこ／え

ほるぶ出版 Eヌ



こいのぼりくんが ねこちゃんを のせて おそらを さんぽ。ところが とちゅうで ぐらぐら、ゆらゆら おそらからおっこちて……。？ こいのぼりくんたちは いったい どうなって しまうのでしょうか。

